

ダイヤモンド・アイ (1973)

メディア TV

ジャンル 特撮 アクション ヒーロー

製作国 日本

色彩 Color

1973/10/05 ~ 1974/03/29

TV放映

金曜日

19:30~20:00

日本教育テレビ（現テレビ朝日）

【解説】

『レインボーマン』に続く、川内康範の東洋神秘・社会派ヒーロー第2弾。ルポライターの雷甲太郎（通称ライコウ）は、政財界の黒幕・大沢山の疑惑を追ううち、13の顔を持つ香港暗黒街の王・キングコブラとの密輸宝石取引の現場に出会う。貿易商・源海龍を名乗るキングコブラに命を狙われ、ピンチに陥ったとき、“アラビアの王”と称されるダイヤの中から、全能の神がつかわした平和の使いダイヤモンド・アイが出現。前世魔人である源海龍の正体を見破り、美しい心を持つ甲太郎に協力して戦うことを誓う。ライコウが、アイからももらったアイリングを光にかざし、「アイよ！」と叫ぶとダイヤモンド・アイが登場するのだ。

「外道照身霊波光線！汝の正体見たり、前世魔人〇〇！」「ばれたかあ〜！」という定番のやりとりはあまりにも有名だが、魔人の正体を暴けるのはアイだけであり、必然的にそれまでのドラマは（外見上は）人間対人間、変身ヒーローではない人間ライコウの活躍を強調する。連続ドラマ的要素が強く、前世魔人との対決途中で「つづく」、次回冒頭で決着がつく、という展開も見られた。前半に登場する7種の前世魔人はそれぞれ複数存在するが、首領であるキングコブラ、後半から登場するヒメコブラ、オニカブトは単体である。

【クレジット】

監督	六鹿英雄	
	高瀬昌弘	
	山田健	
企画	衛藤公彦	
プロデューサー	片岡政義	(NET)
	山本悦夫	(東宝)
原作	川内康範	
脚本	田村多津夫	
	伊東恒久	
撮影	田島文雄	
美術	朝生治男	
編集	清水邦夫 [編集]	
音楽	池多孝春	
アクション	田尻陽一郎	
特技監督	真野田陽一	
殺陣	上西弘次	
特殊撮影	志賀邦利	
特殊美術	鈴木ますみ	

特技助監督	増子正美	
アクション	熊谷巖	
殺陣	渡辺高光	(アクション・ ファイブ)
ナレーター	中江真司	
出演	大浜詩郎	雷甲太郎 (週刊ジャパン・ルポライター)
	黒沢のり子	カボ子 (週刊ジャパン・カメラマン)
	福田悟	五郎 (週刊ジャパン・カメラマン)
	玉川良一	海藤 (東京警察署警部)
	南原宏治	源海龍 / キングコブラ
	真山知子	朱玉 (源海龍の秘書)
	隅田和世	蘭花 / ヒメコブラ
	片岡五郎	キルト
	石光豊	マッド
	吉田未来	魔倫
	久野四郎	早川編集長
	簾内滋之	モンちゃん
	菅井きん	雷勝子
	神田隆	大沢山剛造
	降旗文子	フー子
	谷岡行二	北見八郎
	山田喜芳	真吉
	青木英美	大沢山京子
	古館剛志	前世魔人
	岩下純二	前世魔人
	橋本春彦	前世魔人
	二家本辰巳	前世魔人
	有川兼光	前世魔人
	遠矢孝信	前世魔人
声の出演	池水通洋	ダイヤモンド・アイの声 (初代)
	野田圭一	ダイヤモンド・アイの声